



J. FRONT RETAILING

2011年 7月15日

会社名 J. フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
 奥 田 務
 お問合せ先 経営計画事業統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2011年6月度 J. フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
百貨店業	0.3 (4.4)	▲ 2.8 (▲ 0.6)
スーパーマーケット業	▲ 3.8	▲ 3.2
卸売業	▲ 21.2	▲ 13.9
その他事業	12.8	11.8
連結合計	▲ 0.4	▲ 2.4

※注）百貨店業合計の（ ）内は、松坂屋名古屋駅店（2010年8月29日営業終了）を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店業

- ・6月度の百貨店事業の売上高は、引き続き梅田店が大幅に売上を伸ばし牽引したほか、半袖ワイシャツ、ビズポロなどクールビズ関連商品を中心に紳士服・洋品が好調に推移し、婦人ファッションもラグジュアリーブランドやヤング・ヤングアダルト向けを中心に好調であったことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年5.1%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同4.4%増となった。

2) スーパーマーケット業

- ・ピーコックストアは、売場改装効果が持続する藤沢トレアージュ白旗店、袖が浦店、高野台店などが好調に推移したものの、閉鎖店舗（東池袋店、多摩店など計3店舗および1事業所）の影響などにより対前年▲3.8%減となった。地区別では、首都圏が対前年▲4.2%減、関西地区が同▲1.1%減、中部地区が同 ▲2.8%減であった。

3) その他

- ・卸売業の大丸興業は、食品、ホームセンター向け商材などが苦戦し、対前年▲21.2%減となった。
- ・その他事業は、J. フロント建装、JFRオンライン、ディンプルなどが好調であった。

お問合せ先	J. フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2011年6月度 百貨店業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	6月度		3～6月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲5.5	▲9.4	▲5.2	▲11.9
大丸 梅田店	69.9	117.0	48.6	102.8
大丸 東京店	▲0.9	▲3.2	▲14.1	▲15.6
大丸 ららぽーと横浜店	13.4	-	5.4	-
大丸 浦和パルコ店	3.8	-	▲0.3	-
大丸 京都店	0.6	▲0.1	▲2.2	▲3.9
大丸 山科店	▲16.0	-	▲16.2	-
大丸 神戸店	▲1.3	▲2.5	▲2.5	▲3.7
大丸 新長田店	2.1	-	▲0.4	-
大丸 須磨店	▲0.2	-	▲3.1	-
大丸 芦屋店	0.9	-	▲0.3	-
大丸 札幌店	4.6	3.2	2.7	2.4
松坂屋 名古屋店	2.7	1.8	0.9	2.0
松坂屋 上野店	16.2	2.8	▲5.4	▲9.5
松坂屋 静岡店	8.3	4.2	▲1.6	▲1.9
松坂屋 銀座店	▲19.5	▲22.6	▲25.6	▲24.6
松坂屋 高槻店	▲2.5	5.9	▲0.6	3.3
松坂屋 豊田店	2.0	3.6	1.9	0.5
大丸松坂屋百貨店合計	5.1	12.0	▲0.1	6.6
博多大丸	▲0.7	3.0	▲5.8	▲5.2
下関大丸	1.7	2.3	▲0.7	0.2
高知大丸	▲0.9	▲3.9	▲2.1	▲0.8
百貨店事業合計	4.4	-	▲0.6	-

※注）合計の前年は、松坂屋名古屋駅店（2010年8月29日営業終了）を除く。

前年に松坂屋名古屋駅店を含めた6月度の増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年0.4%増、百貨店事業合計 同0.3%増。

3～6月度累計は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲2.6%減、百貨店事業合計 同▲2.8%減。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
紳士服・洋品	6.5	▲1.5
婦人服・洋品	4.0	0.7
子供服・洋品	9.4	1.1
その他の衣料品	2.0	▲6.0
衣料品計	4.6	0.0
身 回 品	0.4	▲0.3
化粧品	▲1.6	▲2.1
美術・宝飾・貴金属	11.8	0.8
その他雑貨	▲12.5	▲11.0
雑 貨 計	3.5	▲1.7
家 具	1.3	▲1.3
家 電	▲20.5	▲21.3
その他の家庭用品	6.4	2.6
家庭用品計	3.4	0.4
生 鮮	5.2	▲1.4
菓 子	2.8	▲3.4
惣 菜	4.5	0.4
その他食料品	4.2	2.5
食料品計	4.1	▲0.8
食堂・喫茶	20.3	10.9
サービス	▲21.4	▲18.5
そ の 他	25.8	1.5
合 計	5.1	▲0.1

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、梅田店増床効果などによりヤング・ヤングアダルトファッションやラグジュアリーブランドに動きが見られたほか、盛夏アイテムの扇子、パラソルなどが好調であった。紳士服・洋品は、半袖ワイシャツが4割増となるなど、クールビズ関連を中心に伸ばした。身回品は、サンダル、レインブーツが活発に動いた。雑貨は、美術品・宝飾品などの高額品が外商中心に好調で、二桁増となった。食料品は、増床した梅田店が5割増となったほか、お中元商戦も好調に推移した。